

キャリアアップ教育訓練項目とその概要

区分	時間	教育訓練名	説明概要
入 社 時 基 礎 教 育	(1 年 目)	2 H 社会人としての心得 (マナー教育)	社会人としてのビジネスマナーを身につけることは、働く上では基本であり、派遣で就業する上では必須事項となる為、社会に初めてでる人はもちろんベテランの労働者にも改めて言葉遣いから、社会人の心得を学ぶ。 社会人として、仕事を円滑に進める為のビジネスマナー教育。
		2 H ヒューマンエラー	人は必ずエラーを引き起こす。その起こす条件とそれを防止するために取らなければならない処置について学ぶ。 グループ討議で各職場で抱えている問題を共有化し、解決法を探る。
	建設実務研修(初級)	4 H 仕事の進め方 STEP①基礎	コミュニケーションの基礎と報告・連絡・相談の重要性、建設現場における信頼関係づくりに関して解説し、建設現場でどの様にコミュニケーションをとるのなぜ信頼関係が必要なのか、どうやって信頼関係を築いていくのかを学ぶ。 施工における禁止事項や注意事項を中心に研修し、施工中の危険・禁止作業やその他の安全管理事項を深く学ぶ。
建設実務研修(中級)	(2 年 目)	2 H CAD教育 (①基礎)	CADは品質管理の手法であるとともに、図面(施工図)を把握するために必要不可欠である。 品質管理の仕組み、改善手法などについて学ぶ。
		6 H 仕事の進め方 STEP②①応用	仕事の進め方の応用編で更に現場に必要なスキルに関しての教養を深め、コミュニケーションをとる事により与えるかについての研修を行う。 現場工事にてよく使われる用語、重機の配置計画書作成、工事における品質管理、工程管理の考え方と作成の仕方を理解することで実践的な内容が把握でき、業務に直結するスキルを身につける。
建設実務研修(上級)	(3 年 目)	4 H 仕事の進め方 STEP②②応用	仕事の質・成果を求められるとともに、職場のリーダーとして自ら気づき、自律性を発揮していくべき段階に入るため自己の業務の点検、見直しをおこない、施工管理に必要な工程管理、品質管理、安全管理、原価管理のスキルをさらに向上させ、業務に直結するスキルを身につける。 2級建築施工管理技士の資格に向けた研修を映像で行い、資格取得について学ぶ。
		4 H CAD教育 (②応用)	設計変更やアセンブリ設計、図面作成など業務に必要なコマンド知識をひとつひとつ十分に把握しスキルを身に付ける。 設計図を見ながら施工図の修正・訂正を自らできるようにしていき施工図の理解を深める。 現場で実践的に使用できるようにCADスキル向上させ、設計図と現場との違いを自ら把握できるように研修し、業務に直結するスキルを身につける。
マネージメント研修	(4 年 目)	4 H 集合研修	定期的にキャリアに応じた技術・知識を学び、その場で質疑応答ができる環境をつくることで、理解を深めて実践的な内容をバランス良く取り入れ業務に直結するスキルを身につける。
		4 H リスクマネジメント研修	組織を運営する上でより良いマネジメント能力の展開方法を学ぶ。
		4 H 管理責任者研修	組織の責任者として予算管理、リスク管理、人事管理などを学び施工管理者としての力量を身に付ける為の研修。